

2025 年版 自己点検報告書

2025 年 10 月 21 日

動物実験委員長

丸山 みゆき

調査対象期間：2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日

点検項目	点検結果
規則、組織	3Rs に配慮した規定および体制は整っており、動物実験が適切に実施されている。
動物実験委員会	動物実験が実施される上で、委員会は適切に機能していると考ええる。また、社内研修の立案、実施も行なわれている。
動物実験計画書	動物実験開始前に、動物福祉に関係した情報および特殊実験に関する情報を含む動物実験計画書が提出され、委員会による審議および NAS 研所長による承認を得ている。また、変更届、中止届も適宜提出され、適切に承認、保管されている。
教育訓練	社内研修会 24 回、社外研修会 13 回の研修報告が出されている。また動物福祉、人獣共通感染症、実験手技、飼育管理等に関する新人研修や飼育現場での研修会が適宜行われている。学会等の参加、情報誌の回覧等により、情報の共有に努めている。
自己点検・評価	動物実験委員および動物実験実施者による自己点検調査で課題点を抽出し、動物実験委員会の検討を経て、その対応を行っている。対応後の状況報告も適宜行われている。
動物実験の実施	承認された動物実験計画書に基づいて、3Rs に配慮しつつ試験が実施され、変更、中止および終了の手続きが適切に執られている。
麻酔薬、向精神薬	麻酔薬、向精神薬の取扱いは、関連法に基づいて適切に行われている。
飼育管理	動物実験実施者は、主として 1 級、2 級実験動物技術者、実験動物技術指導員および獣医師により構成されており各動物の飼育管理に精通している。
施設・設備	施設・設備は、適切に維持管理されており、修繕・修理が必要な箇所は、適切な対応が取られている。
安全管理	労働安全衛生法に基づく巡察が実施されており、動物、作業従事者および環境にとって安全であることに努めている。
その他	動物実験に関する SOP および動物種ごとの飼育管理指針の充実を継続して行っている。
NAS 研所長署名	萩 森 一 郎 2025 年 10 月 22 日

自己点検の実施要領